

鴨川市地域公共交通会議 平成 29 年度第 3 回会議
兼 鴨川市地域公共交通活性化協議会 平成 29 年度第 3 回会議

会 議 録

日時：平成 29 年 12 月 18 日（月）午後 2 時 30 分～

場所：鴨川市役所 4 階 400 会議室

1 会長及び委員

役職等※	所属・職	氏 名	備 考
会 長	鴨川市 副市長	小柴 祥司	
(副会長)	鴨川市福祉作業所 所長	渡邊 榮一	
	鴨川日東バス株式会社 代表取締役社長	安藤 建夫	
	一般社団法人千葉県バス協会 専務理事	花崎 幸一	
	有限会社鴨川タクシー 代表取締役社長	本多 信介	
	鴨川日東バス株式会社 互助会	市川 和男	
	国土交通省関東運輸局 千葉運輸支局 首席運輸企画専門官	飯塚 正芳	
	千葉県鴨川警察署 交通課長	重村 大輔	
	千葉県総合企画部交通計画課 企画調整班 主事	稲葉 晋平	岡崎晃士 委員 代理
	東日本旅客鉄道株式会社 安房鴨川駅 駅長	佐藤 力	
(監査委員)	利用者代表	小高 好宏	公募委員
(監査委員)	利用者代表	手塚 治代	
	利用者代表	里見 桂子	

※括弧書きの役職は鴨川市地域公共交通活性化協議会のもの

【欠席委員】

役職等	所属・職	氏 名	備 考
	小湊鐵道株式会社 専務取締役	久我 義範	
	千葉県安房土木事務所 鴨川出張所長	吉野 利秋	
	鴨川市校長会 会長	松本 俊一郎	

2 事務局

所属・職	氏 名	備 考
鴨川市企画政策課 課長	平川 潔	
鴨川市企画政策課 課長補佐	石井 宏子	
鴨川市企画政策課 政策推進係 係長	藤代 公貴	
鴨川市企画政策課 政策推進係 主任主事	森 和之	
ランドブレイン株式会社		

[配布資料]

- ・ 席次表，出席者名簿，委員名簿
 - ・ 資料 1 事業仕分けの実施結果について
 - ・ 資料 2 鴨川市地域公共交通網形成計画の改定に係るアンケート調査結果（概要）
 - ・ 資料 3 新たな公共交通システムの導入に向けた検討について
 - ・ 資料 4 鴨川市地域公共交通網形成計画（改訂版）（素案）
-

1 開会（午後 2 時30分） 司会 企画政策課 平川課長

- ・ 配布資料の確認
- ・ 欠席委員の紹介

2 会長あいさつ 小柴会長

（要旨）

本日は、年末のお忙しい中、ご出席いただき感謝する。

本日の会議では、事業仕分けの実施結果や公共交通に関する市民アンケート調査の結果概要の報告と、「新たな公共交通システムの導入に向けた調査研究業務」の運行方式の整理や先進事例の紹介等を受託事業者にしてもらい、議論を深めていただきたい。

更には、改訂版の鴨川市地域公共交通網形成計画についての協議も予定している。

詳しくは、後ほど事務局から説明があるが、忌憚のないご意見をいただきたい。

3 議事 議長 小柴会長

会長を議長として進行。

議事録署名人として、本多委員を指名。

報告案件 1 事業仕分けの実施結果について

事務局から、資料 1 に即して説明。

委員からの意見等はなし。

報告案件 2 鴨川市地域公共交通網形成計画の改定に係るアンケート調査結果（概要）について

事務局から、資料 2 に即して説明。

委員からの意見等はなし。

協議案件 1 新たな公共交通システムの導入に向けた検討について

事務局から、資料説明に先立ち、委託事業の概要・進め方について補足説明

受託事業者から、資料 3 に即して説明。

今後の具体的な提案をもとに、引き続き協議していくこととされた。

説明後における委員等の発言は以下のとおり。

(飯塚委員) 今日の協議案件名が「新たな公共交通システムの導入に向けた検討について」なので、具体的な提案は出てこないのか。

⇒ (会 長) 具体的な提案はまだできていないが、この後に協議を予定している「鴨川市地域公共交通網形成計画(概要版)(素案)」に実施事業等の記載があるので、この運行方式や先進事例の整理等を参考にしつつ、議論していただきたい。

協議案件2 鴨川市地域公共交通網形成計画(改訂版)(素案)について

事務局から、資料4に即して説明。

別紙様式により引き続き意見等を求めることとされた。

説明後における委員等の発言は以下のとおり。

(稲葉代理) 基本的には時点修正と見受けられたが、市民からのアンケートが反映された部分は具体的にはどの辺りか。

⇒ (事務局) 基本的には、ご指摘の通り時点修正ということで改定作業を行っている。市民アンケート結果の反映箇所については、特に利用促進の部分になるが、新規事業として加えた「電子パンフレット化」「利用モデルパターン等の作成」という箇所に反映している。

(稲葉代理) 具体的な箇所としては、43頁ということでよいのか。

⇒ (事務局) その部分と、事業の詳細については57頁に記載している内容である。また、今回のアンケート調査結果は、地域公共交通網形成計画の改定と併せて、新たな公共交通システムの導入に向けた仕組み作りへ反映させることも考えている。今年度中に、どういう形で進めていくか一定の方向性を示したいと考えており、その部分を61頁に「新たな公共交通システムの導入検討」に記載し、反映させている。具体的な事項については、この会議で検討していきたいと考えている。

(会 長) 素案についての意見等は、いつまで募集するのか確認したい。

⇒ (事務局) 1月10日までを期間としている。

⇒ (会 長) 改めて素案を見て、意見等があった場合には、1月10日までに別紙に記入し事務局あて提出いただきたい。その後、いただいた意見等を踏まえ素案を修正し、原案として取りまとめ、皆様に示したい。

(会 長) 新たな公共交通システムに関しては、今後どのようなスケジュールで検討を進めていくのか説明を。

⇒ (事務局) 来月末に開催を予定している次回会議の際にある程度の形が示せればと考えている。また、検討に当たっては、市内で公共交通を担っている事業者の方々に事前にヒアリングを行うなどしながら、計画の改定作業に加え、新たな公共交通システムの検討を進めていきたい。

現在、コミュニティバスを運行しているものの、停留所まで距離がある等が高齢化の進行により不便な要素となっていることから、現状の公共交通を改良していくのか、新たな公共交通を導入するのかを含めて検討している。早急に提案ができるように進めていきたい。

4 閉会（午後 3 時40分）

以上

鴨川市附属機関等の会議の公開に関する実施要領第 7 条第 3 項及び鴨川市地域公共交通活性化協議会会議運営規程第 4 条第 2 項の規定により会議録の内容について確認します。

平成 3 0 年 1 月 4 日

本 多 信 介